

2018 年度

# 滞日外国人 ソーシャルワーク研修

～孤立と排除を超えて「共生」へ～

日本に暮らす外国人は約 238 万 3 千人(平成 28 年末)、日本国内の外国人労働者は平成 29 年 10 月末で、128 万人。介護分野で在留資格が認められたことから、人手不足が深刻な社会福祉現場で受入れが進むものと思われます。複雑な生活課題を抱えながら地域で暮らす滞日外国人の方々に対して、ソーシャルワーカーはどのような支援ができるのか。本研修では滞日外国人支援の視点とあり方を学び、滞日外国人の生活課題の支援するソーシャルワーク実践力を身につけることを目指します。

**7 月 22 日**  
**(日)**  
10:00～18:00

## 内容 (予定)

- 「現代日本における多文化ソーシャルワークの必要性」
- 「在留資格の基礎知識」
- 「外国人に適用される社会保障、福祉サービスの現状」
- 「多文化ソーシャルワークと共生社会の実現－滞日外国人と医療・その変遷と現状－」
- 「滞日外国人・難民とソーシャルワーク実践－やさしい日本語と通訳者との連携」

会場 兵庫県福祉センター  
203 会議室

**8 月 5 日**  
**(日)**  
9:30～16:30

## 内容 (予定)

- 分野・テーマ別に、事例を通して福祉的支援のあり方を学ぶ  
専門分野の例 (昨年度実施内容): 生活保護機関等による滞日外国人支援、外国籍 DV 被害者への支援等、外国人児童生徒等への対応、初めての滞日外国人支援

**対象** 滞日外国人支援に関わっている方、もしくは関心のある方 60 名

**受講費** 会員: 12,000 円 一般: 24,000 円 (テキスト代含まず)

※テキストは『滞日外国人支援の実践事例から学ぶ 多文化ソーシャルワーク』(社団法人日本社会福祉士会編集、中央法規出版)を用います。一般書店の他、受講決定後にお送りするテキスト購入用紙で中央法規出版(株)に申し込み、購入が可能です。

**懇親会** ※参加人数により開催しない場合があります。

※その他研修の詳細は、決定次第ホームページ等でお知らせいたします。

※科目名(区分): 対象者別科目(地域社会・多文化分野)、単位数: 1 単位、研修認証番号: 20160008

修了要件: 研修終了後に修了レポートを提出の上、研修主催者によるレポートの評価および合格が必要。

15 分以上の遅刻・早退・途中退室があった場合、研修は未修了となりますので、ご注意ください。

**主催** 一般社団法人 兵庫県社会福祉士会